

# 令和7年度 第1回 地域連携推進会議 議事録

日時：令和7年 11月 26日（水）

14：00～15：30

場所：小松陽光苑 相談室

## 1. 開会のあいさつ（遠藤施設長より）

地域連携推進会議の趣旨について説明する。

## 2. 委員紹介

施設利用者・・・A氏（自治会役員）

施設利用者の家族・・・B氏

地域の関係者・・・C氏（社会福祉協議会）

福祉に知見のある者・・・D氏（司法書士）

市町の職員・・・E氏（ふれあい福祉課）

## 3. 障害者支援施設 小松陽光苑について

### （1）今日までの変遷・法人の概要

遠藤施設長より、法人設立から小松陽光苑の開設及び社会福祉法人石川整肢学園の概要を説明する。

### （2）運営状況

遠藤施設長・支援課滝岡より、職員数・運営状況・利用状況・経営状況について説明する。活動内容については、パワーポイントにて活動写真を紹介する。

BCP（業務継続計画）や虐待防止の取り組みについては、研修や訓練を通して苑全体で知識の習得と意識の向上を図っている旨を説明する。

### （3）事業概要

支援課滝岡より、5事業所の事業概要を説明する。

（小松陽光苑・就労継続支援B型ひまわり・就労準備支援事業  
・就労訓練事業・障害福祉サービスセンターひかり）

### （一度、ご意見・ご質問を伺う）

・ショートステイの受け入れを行っているが、緊急時の受け入れに関してはどのようなになっているのか。障害福祉サービスを利用していない方でも利用できるのか。

→以前、市福祉課からの連絡でやむを得ない措置として緊急利用された方はいる。

その他、障害福祉サービスを申請していない方が利用したいとの連絡があれば、苑としてはとりあえず担当市町に確認する必要がある。本来は、障害福祉サービスの支援区分やサービス種別が支給されないと利用できないのが前提なので、支給決定先の各市町福祉課との連携になる。苑の方針としては可能な限り受け入れを行っている。在宅生活を送る方々にとって大切な事業であることの認識をもって事業を継続していきたい。

- ・就労準備支援事業の利用者は何人くらいいるか。

→現在、登録者数は4名で1日平均2～3人程度である。

#### 4. 施設見学

1階正面玄関から共有スペース（入浴場、リハビリ室等）を見学した。入浴場では入浴方法の説明を行い、リハビリ室ではOTからリハビリの参加人数等の説明あり、熱心に聞かれていた。就労継続支援B型ひまわりでの見学では、実際に箱折り作業されている方の様子を見て、作業の速さに驚いていた。

センターひかりでは、利用人数や対象者、活動内容等の説明を受けた。

2階の居住棟に上がり、多目的室や食堂、居室等を見学した。居室の広さを実際に室内に入って大きさを確認していた。

食堂の広さに驚かれていたが、実際に車いす利用者や職員が入ると窮屈になる旨を話すとなだめされていた。

#### 5. 感想、質疑応答

（C氏より）

- ・広くて清潔感がありとても良いと思った。社会貢献活動にも取り組まれているので頑張っていると思います。

（E氏より）

- ・職員と会うたびにあいさつがあり、とても雰囲気の良い職場環境のように感じました。利用したいと言っている方もいますが、そういう雰囲気があるから利用希望があるのだと思いました。

（B氏より）

- ・子どもが入所していますが、自宅で10年近く介護をしてきたので介護をして頂く職員の大変さはよく分かります。健康でないと働けないので十分留意してほしいと思います。旧建物は古くて暗く感じたが、新しい建物になって明るくきれいになりましたね。

（A氏より）

- ・旧建物の時は4人部屋でプライバシーも何もなかったが、新しい建物は個室なの

でプライバシーが守られ、快適な生活を送っています。就労 B 型に通っているので生活にメリハリがでて楽しいです。

- ・次回、地域連携推進会議開催 令和 8 年 1 1 月頃予定

(記録：滝岡)